



社会福祉法人 ほっとスマイル

ぽぽデイ名塩駅前 669-1134 西宮市名塩新町 5021-11 TEL 0797-62-0705

ぽぽデイ東山台 669-1133 西宮市東山台 1-1 TEL 0797-62-1165 (1F)

TEL 0797-26-7705 (2F)

インフルエンザの予防接種はもうお済みになりましたでしょうか。私たちは、普段、風邪気味でお医者さんからお薬をもらうことはあっても、注射をされる機会というものはそうそうあるものではありません。でも、どんなに元気な方でも、大抵の大人は、少なくとも年に2回（～3回）だけはどうしても「注射」の経験をしなくてはなりません。注射ではないですが、健康診断で血液検査をしてもらうときと、それとこのインフルエンザの予防接種のときです。考えてみると、「注射」はいくつになっても嫌なものです。大人になっても嫌なこの「注射」が子どもにとってはどれほど嫌なものか、怖いものか、想像に難くありません。この嫌なもの、怖いものとしての注射、イヤだけど避けて通ることのできないものとしての注射を子どもに受けさせるのに親御さんはとても苦労されますが、その時、どんなことばをかけられるでしょうか。「痛く無いよー、痛く無いよー、あつという間だよ、頑張っ、頑張っ！」というのが一般的な励ましのことばなのではないかと思うのですが、まあ現実はそのことばかけも役に立たず、看護師さんと一緒になって、グッと押さえつけてオシマイということが多いのでしょうか…。でも、そんな注射に対する態度一つにも、大げさなようにも思いますが、その人の「人生に向き合う姿勢」が出てくるものだといつか本で読んだことがあります。嫌なこと、怖いこと、避けたいけど避けられない、私たちの人生のそんな出来事に向き合わなければならぬ時、子どもにごまかしてはいけないと言うのです。ですから注射をする時も、「痛く無いよー、痛く無いよー」ではなくて、「注射は痛いよ、痛いかも知れないよ。だけど我慢しようね、強くなろうね！」。痛がり、で、怖がりの私はこのことばを読んだ時、もう少し自分も強くなろうと思ったことでした（ただその時はそう思ったものの、相変わらず痛がり、で、怖がりではあります）。(M記)



### 新年会のお知らせ

日時：平成30年1月27日(土) 午前中

場所：塩瀬公民館 第3、第4集会室

今回は児童発達、放課後デイご利用の皆さん一緒に集って、日頃の活動の様子などを見ていただきたいと思います。ささやかですがお土産も御用意いたします。どうぞご家族皆さままでお越しください。後日お手紙で出席を伺いますのでよろしくをお願いします。



### きらり (すてきな瞬間を紹介します)

土曜活動のボーリングに3回目の参加となるMくんは、負けることが大嫌い。去年も思ったように点数が伸びずに落ち込み、「もうせえへん！」とすねる様子が見られました。最近のMくんは落ち着いて、自分の気持ちも随分はっきり言えるようになってきたので、今年はどうな姿を見せてくれるのだろうと楽しみにしていました。

いよいよ当日、仲良しのKちゃんと同じレーンで2ゲーム頑張りました。負けても「やられた～」といいながらとても楽しんでいる様子でした。ボーリングの腕も上がっていましたが、気持ちをコントロールする力もしっかりついていたのですね。「負けても楽しい」ことがわかるとお友だちとの時間もますます好きになっていくようです



## ペアレントトレーニング 無事終了!!



11月24日、全6回のペアレントトレーニングが終了しました。・サポートブックの書き方がわかった。・子どものほめ方叱り方を学んだ・声掛けの仕方で伝わり方が違うことに驚いた・宿題が大変だった。などの感想をいただきました。また、ほとんどの方が「相談しあえる場が持ててよかった。仲間ができた。」と感じられていて、ペアトレのもう一つの目的「子育て仲間を作る」にも近づいたのではないかと思います。今後もこの講座を続けていきますので、皆さまのご参加お待ちしております。

### くらしのセミナー講演会のお知らせ そうだったんだ!

「発達障害の特性を知ってみんなでサポートしよう」  
地域の方に特性やかかわり方について知ってもらう講座です。お子さんの困り感をうまく伝えるヒントになるかもしれませんね。ぜひご参加ください。

日時：平成29年12月11日(月)  
10:00~11:30

場所：塩瀬公民館 講堂(塩瀬センター3階)  
講師：障害者総合相談支援センターにしのみや  
センター長  
増田真樹子先生



### 知識を求めて

いろいろな知識を求めることは、とても楽しいことです。

私がきっかけになったのは、教育実習の時に「結節性硬化症」の子どもに会ったことに始まります。その後、養護学校時代に「レット症候群」の女兒を見つけたことです。主治医からも診断はされていなかったですが、その後、主治医の診断を受けました。また、1990年頃は、アスペルガー症候群は一般的でない頃、IQ106、感情の起伏や衝動的な行動があり、巧緻性の高い双子の女兒にあったことなどが印象に残っています。

その後、学習障害、注意欠陥・多動性障害、アスペルガー症候群等の発達障害が注目され、従来の知的障害、肢体不自由等々の障害と違い戸惑ったこともありました。発達障害児の行動・思考特性の理解を高めようとして知識を求め、現在があります。

知識を豊富にすることにより子ども達の理解を深め、教育・療育の質を高めると考えます。

(N記)

### スタッフの一言

10月よりお世話になっております中川です。笑顔と喜びを大切に、お子様との時間を過ごしたいと思っております。至らない点多々あるかと思いますが、今後ともよろしく願い申し上げます。

(名塩駅前 中川ゆか)

はじめまして。11月より働かせて頂く事になりました尾川です。

まだまだ不慣れな事も多いですが、皆さんと早く仲良くなれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(東山台 尾川典子)

